

121系近郊形直流電車のリニューアル工事について

平成28年5月11日

JR四国では、予讃線（高松～伊予西条）と土讃線（多度津～琴平）で普通列車として使用している121系近郊形直流電車について、リニューアル工事を行うことになりましたのでお知らせします。

1 対象車両

2両固定編成、19編成38両です。

2 運転開始日

平成28年6月以降の予定です。

3 運転区間

予讃線（高松～伊予西条間）

土讃線（多度津～琴平間）

4 車両の主な変更箇所

（1）車号

弊社7000系近郊形直流電車との連結を考慮し、「7200系近郊形直流電車」とします。Mc車（運転台付動力車）を7200代、Tc車（運転台付付随車）を7300代としています。

（2）デザイン

121系新製当時の赤色を踏襲した赤いラインと、新型台車「efWING[®]」を用いるなど環境に配慮したエコロジーな車両を緑のラインで表現しています。

（3）客室設備

腰掛モケット、窓枠などのリニューアルを行っています。また、車いすを使用している方にも安心してご利用いただけるように、車いすスペースを設けております。

（4）車両性能

車両の制御方法をVVVF（可変電圧可変周波数）インバータ制御とし、主電動機を直流モータから交流モータに変更しています。

（5）台車（efWING[®]）

「efWING[®]」は川崎重工業が開発した新型台車です。従来の台車は鋼製の側バリと独立したコイルバネを用いていますが、efWING[®]では側バリとコイルバネの両方の機能をCFRP（炭素繊維強化プラスチック）製のバネに集約することにより、走行安全性の向上と大幅な軽量化が図られます。また、平成28年2月～4月にかけて、予讃線で走行試験を行い、CFRP台車の走行安全性と現行台車からの乗り心地の改善効果を確認しています。

7200系近郊形直流電車 写真



7200系 外観



7200系台車 (efWING®)